

(別紙1) 2022年度地方創生推進交付金(先駆タイプ、横展開タイプ、Society5.0タイプ)実施計画【新規事業】

都道府県名	大分県	市区町村等名	中津市	地方公共団体コード	44203
担当部署名	企画観光部総合政策課		責任者名		責任者役職
担当者名		電話番号		メールアドレス	sogoseisaku@city.nakatsu.lg.jp
事業タイプ	横展開タイプ	事業分野(大項目)	しごと創生	事業分野(詳細)	②観光振興(DMO)等の観光分野
					事業分野 ○

①交付対象事業の名称・連携先地方公共団体

単独広域	交付対象事業の名称
広域連携	日本遺産「やばけい遊覧」推進事業

地域再生計画の名称及び認定回

地域再生計画の名称	認定(初回)
日本遺産「やばけい遊覧」推進計画	新規

入力チェック

有識者対象(先駆)	有識者対象(横展開)	有識者対象(Society5.0)	広域・単独	事業費	注意
-	-	-	○	○	

連携先地方公共団体数	2
------------	---

(千円単位)

No.	都道府県名	市区町村等名	地方公共団体コード	2022年度交付金対象事業経費	2022年度交付金申請額(左記の1/2)
1	大分県	中津市	44203	3,222千円	1,611千円
2	大分県	玖珠町	44462	569千円	284千円
計				3,791千円	1,895千円

②交付対象事業の背景・概要(各項目について簡潔に記す)	<p><A. 地方創生として目指す将来像(交付対象事業の背景)></p> <p>中津市には近世、城下町として栄えてきた歴史があり、旧城下町の地区は現在でも当時の町割りが残っている。また、旧城下町から、景勝地として名高い「耶馬溪」、玖珠町にかけて、歴史的価値のある神社仏閣・史跡・名所が連なっている。さらに、これらの場所と密接に関連した、伝統的な民俗・芸能・産業は地域の特色を表す文化として人々の間で大切に引き継がれている。このような名所や文化が一体となったストーリーは、平成29年4月28日に文化庁によって日本遺産に認定され、改めてその価値の大きさが顕在化された。</p> <p>一方で、日本遺産に認定されたストーリーのある地域の大部分が過疎地域となっており、人口減少が加速する中で集落の維持が困難になっており、地域の元気が失われつつある状況にある。このような地域の人口減少や、それに伴う伝統・文化・産業の衰退を改善し、地域の再活性化を図る手段の一つとして、今後は、地域の住民を中心に日本遺産に認定された史跡・名所や伝統文化を活用し、観光客の誘客や収益の見込める事業を確立するなど、活力ある地域の再生を図りつつ、日本遺産を未来へと引き継いでいくことが求められている。</p>
	<p><B. 地方創生の実現における構造的な課題></p> <p>【日本遺産の活用】 「耶馬溪」には文化財としての価値があり、観光資源としても活用できる史跡・名所や、後世に引き継ぐべき地域住民による文化や伝統が数多く存在している。中津市から玖珠町にかけて広域に及んでいるこれらの財産は一つのストーリーとして文化庁により日本遺産に認定されたが、認定後の事業としては主としてPRに留まっている。中津市の観光入込客数は平成30年を最後に減少しており、日本遺産を文化財として、又は地域活性化のための観光資源としての活用が最大限できているとはいえない状況である。</p> <p>【日本遺産のストーリーのある地域の過疎化】 日本遺産に認定されたストーリーのある中津市から「耶馬溪」、玖珠町にかけての地域の大部分は、過疎化の進展により人口の減少率が5年間で10%(2020年国勢調査より)を超え、集落の維持さえも困難になってきており、人々が受け継いできた伝統・文化・産業も衰退し、それ以前に買い物、通院、他者とのコミュニケーションなど日常生活を送ることさえ危ぶまれている。このような地域の再活性化のためには、日本遺産に認定された文化財の保持という強みを生かした観光振興などにより、多くの観光客を呼び込み、地域の産業の確立や伝統・文化の継承などが必要であると考えられる。</p> <p>【観光産業の課題】 しかしながら、現在の観光状況は中津市の場合、コロナの影響を受ける前の令和元年度の分析で、観光入込客数が400万人を超えることに対して宿泊客数は30万人に満たないなど、圧倒的に日帰り観光が主流であり、観光で十分な収益をあげるには課題が多い。これらの課題を解決し衰退が進む地域の再活性化を図るためには、日本遺産という強みを生かした文化財等の最大限の活用や、更なる地域の魅力の掘り起こしを行い、滞在時間の長い観光客の獲得、それによる地域の産業の確立等による地域の元気づくりを推進する必要がある。</p>

要(各項目について簡潔に記載)	<p><C. 交付対象事業の概要></p> <p>中津市及び玖珠町の関係機関等により構成される中津玖珠日本遺産推進協議会が中心となって実施する以下の事業に要する経費に対して、中津市及び玖珠町から補助金を交付する。</p> <p>○「やばけい博覧会」開催事業(※令和3年度に同様の事業を試験的に実施し、日本遺産プロデューサーより高い評価を受けたため、今後3年計画として規模を拡大しながら本格的に実施。)</p> <p>地域住民や地域の事業者等を主体として、観光資源の掘り起こしやイベント、観光商品を開発する。日本遺産プロデューサーを招へいし、観光メニューのブラッシングを図るとともに、地域の人材・組織の育成を図る。磨き上げた各観光メニューを「やばけい博覧会」として集約し、地域全域の各所において、オンパク(※)形式で「やばけい遊覧」のイベントを行う。</p> <p>※オンパク…地域資源を活かした小規模な体験交流型のプログラムを、一定の期間内に集中的に提供するイベント形態のことで、温泉博覧会が語源となっている。</p> <p>○日本遺産「やばけい遊覧」魅力発信・受入態勢整備事業</p> <p>九州国立博物館や日本遺産サミットなどにおいて、日本遺産紹介ブースを出展し、観光商品のPRを行うとともに、「やばけい遊覧」の構成文化財を現地で見えて理解できるように説明板・案内板を各地に設置し、観光客の受入態勢の向上を図る。</p>
	<p><D. 交付対象事業が構造的な問題の解決に寄与する理由></p> <p>【地域の収益向上、産業確立、人材育成、交流人口拡大、伝統文化の継承による地域再活性化】</p> <p>「やばけい博覧会」の実施による日本遺産を活用した魅力ある体験型観光の導入により、観光客数の増加だけでなく滞在時間の増加につながり、観光消費額の増による住民・事業者の収益向上、産業確立が見込まれる。</p> <p>また、「やばけい博覧会」実施の過程の中で、中津市から玖珠町にまたがる広域において、観光資源の掘り起こしが行われ、今まで表に出てこなかった地域の魅力の再発見が期待される。さらに、地域住民、事業者が中心となる観光資源の掘り起こしから、ブランディング、活用の過程で住民・事業者のノウハウ向上、組織力向上等による人材育成が図られ、一層の地域の魅力の活用が促進されるという好循環が生まれる。</p> <p>これらの、地域の収益向上、産業の確立、人材育成が相関し、地域が元気になるとともに、大切な伝統・文化・文化財も人々の中で引き継がれながら、交流人口の拡大を伴う地域の再活性化に寄与することが期待される。あわせて、日本遺産のPRや受入態勢の整備を行うことで、観光客の呼び込みと周遊促進を図り、地域住民・事業者の活動と相乗効果を成す。</p>
	<p><E. ハード事業(施設整備等事業)とソフト事業との連携による高い相乗効果></p>

③関連事業の概要

令和3年度で終了する地方創生推進交付金事業の有無	無
本事業の前身となる地方創生推進交付金を活用した事業の有無	無

<本事業の前身となる地方創生推進交付金を活用した事業がある場合、前身事業を以下に記載>

事業名	事業分野(大項目)	事業分野(詳細)	事業開始年度	2020年度まで		2021年度	
				累計目標値	累計実績	目標値	実績見込
事業概要	(1) 地方創生の実現における構造的な課題 (簡潔に記載すること)						
	(2) 交付対象事業の概要 (簡潔に記載すること)						
	(3) 前身事業までの計画期間内における事業の見直し内容 (毎年度のPDCAサイクルの中で、どのような事業の見直しがなされたか、簡潔に記載すること)						
	設定						
前身事業のKPI	KPI①		単位				
	KPI②						
	KPI③						
	KPI④						
前身事業の経費	事業最終年度の交付対象事業におけるソフト事業経費内訳					交付対象事業費におけるハード事業経費内訳	
	(前身事業の最終年度の経費内訳を記載すること)					(前身事業の最終年度の経費内訳を記載すること)	
(1) KPI以外の成果 (KPIと同視できる指標が事業の規模に見合った形で相当程度改善・上昇している場合はその内容を記載すること)							

事業効果の検証・分析結果・後継事業の考え方	(2) 事業効果の検証・分析 (前身事業の効果の検証についてKPIへの寄与度も含めて記載すること。ポスト深化・高度化事業の場合は、深化・高度化事業の前身事業も含めた効果の検証について記載すること。) (事業効果の検証を踏まえたKPI達成/未達成の要因についての分析結果を記載すること)
	(3) 事業効果の検証・分析から見えてきた新たな課題・ニーズ (主観的ではなく、客観的な記載とすること)
	(4) 第三者評価の結果 ※高度化・展開事業及びポスト深化・高度化事業の場合は必須 (「(2) 事業効果の検証・分析」「(3) 事業効果の検証・分析から見えてきた新たな課題・ニーズ」が適切であるかについて外部組織等の第三者評価を実施し、付された意見等を記載すること)
	(5) 高度化・展開事業(深化・高度化事業)としての考え方 (本事業の前身となる地方創生推進交付金を活用した事業から、PDCAサイクルによる事業の評価・分析に基づき、どのように高度化・展開(深化・高度化)させるのかポイントを記載すること)
	高度化・展開事業として充足していると考えられる要素について ※高度化・展開事業の場合のみ記載 (Q&A4-1-6参照) ①新たに企業版ふるさと納税等(寄附、負担金、融資や出資など)を得ること。併せて民間事業者や住民等の主体的かつ具体的な参画をもって、より効果の高い事業の推進を図るもの ②隣接する地方公共団体に限らず、戦略的に、より広域的観点から新たな地方公共団体と連携した広域連携事業とし、広域的なメリットを発揮しながら効果的かつ効率的な事業の推進を図るもの ③前身事業の成果を他政策と連携させること等により、事業の発展的転換を図るもの ④新たな事業推進主体の設立等を通じ、事業領域の戦略的な多角化を図り、事業の波及効果を高めるもの ⑤新たな事業の分野において成果を上げている人材を確保し、事業推進の中心的役割を担う人材として活用するとともに、新たな人材が育成される好循環を生み出すもの ・前身事業(先駆タイプ)→本事業(先駆タイプ):①～⑤のうち二つ以上必要 ・前身事業(先駆タイプ)→本事業(横展開タイプ):③、④いずれか一つ必要(両方可)
高度化・展開事業として充足していると考えられる要素	要素 本事業が高度化・展開事業として選択した要素を充足していると考えられる具体的な内容 (本事業が高度化・展開事業として選択した要素を充足していると考えられる具体的な内容を記載すること)
ポスト深化・高度化事業として充足していると考えられる要素	(1)他の政策分野との組合せに関する具体的な内容
	(2)上記(1)の具体的な内容が、「事業効果の検証・分析結果・後継事業の考え方」の「(3)事業効果の検証・分析から見えてきた新たな課題・ニーズ」を解決するために必要となる理由
	(3)上記(1)の具体的な内容が、どのような点で、深化・高度化事業とその前身事業の質的転換・発展を図るものか(どのような点で深化・高度化事業の継続事業・延長事業ではないのか)

<交付対象事業が地方創生拠点整備交付金と関連性がある場合、以下に記載>

事業名	
事業概要	
交付対象事業との関連性	

<交付対象事業とは別に行う関連事業がある場合、以下に記載>

事業名	
事業概要	
交付対象事業との関連性	

事業の一部もしくは全てにおいて、「農山漁村振興交付金」、「中山間地域農業農村総合整備事業」、「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業」、「広域周遊観光促進のための観光地域支援事業」、「福島県における観光関連復興支援事業」等の補助対象となる事業の有無	無
事業の一部もしくは全てにおいて、他の国庫補助金（「離島活性化交付金」、「社会資本整備総合交付金」等）の対象となる事業の有無	無
事業の一部もしくは全てにおいて、類似の地域少子化対策事業について、「少子化対策重点推進交付金」と重複した申請の有無	無
事業の一部もしくは全てにおいて、「地方創生拠点整備交付金」と重複した申請の有無	無
事業の一部もしくは全てにおいて、国又は独立行政法人の補助金の給付を既に受けている、若しくは、受けることが確定している事業の有無	無
日本版DMO関連事業である場合、観光庁が創設した「日本版DMO登録制度」への登録もしくは登録予定の有無	有

④交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）、経費内訳、費用対効果分析等

<交付対象事業実施期間全体>

KPI① (アウトカムベースで、複数年度を通じて評価指標としてふさわしいもの)	中津市と玖珠町の観光客数(中津市の観光入込客数+玖珠町の観光施設の利用者数)	単位	千人
KPI②	「やばけい博覧会」を中心とした日本遺産事業の参加者数	単位	人
KPI③		単位	
KPI④		単位	
設定したKPIが複数年にわたって費用対効果を計測するのに適している理由及び計測手法	<p>「観光客数」を成果指標とすることは、中津市から玖珠町にかけて広域で認定されている日本遺産を活用した取組みにより、交流人口の拡大等、地域の賑わいを測るだけでなく、観光消費額や、参加事業者の収益にも関連するものであり、総じて地域の活性化の進捗を測るうえで適した指標であるといえる。</p> <p>また、「やばけい博覧会」の参加人数を成果指標とすることは、「やばけい博覧会」に関連した観光消費額や、参加事業者の収益増などを推し測るうえで適している。また、掘り起こされた地域の魅力の数(観光イベント開催箇所数)の増加、人材育成の進展にも間接的に関連するものもあり、「観光客数」の指標を補完するうえで適している。</p>		

	事業開始前 (現時点)	2022年度増加分 (1年目)	2023年度増加分 (2年目)	2024年度増加分 (3年目)	2025年度増加分 (4年目)	2026年度増加分 (5年目)	KPI増加分の 累計
KPI①【①】	3,596.34	694.66	387.00	386.00			1,467.66
KPI②	350.00	50.00	50.00	50.00			150.00
KPI③							0.00
KPI④							0.00
	2022年度 (1年目)	2023年度 (2年目)	2024年度 (3年目)	2025年度 (4年目)	2026年度 (5年目)	合計	
交付対象事業経費【②】 ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。	3,791千円	3,791千円	3,791千円	0千円	0千円	11,373千円	
交付対象事業における単位当たりコスト【②/①】	5.46千円	9.80千円	9.82千円	0.00千円	0.00千円	7.75千円	
交付対象事業におけるハード事業経費【③】	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
交付対象事業におけるハード事業比率【③/②】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

地方版総合戦略の策定状況

次期地方版総合戦略を策定済	大分県中津市 大分県玖珠町	現行の地方版総合戦略を延長済
次期地方版総合戦略を交付決定までに策定予定		現行の地方版総合戦略を延長予定
次期地方版総合戦略の策定期間	大分県中津市 2020年3月31日 大分県玖珠町 2021年3月31日	現行の地方版総合戦略の延長期間
次期地方版総合戦略における基本目標	基本目標： 元気づくり～モノや人が行き交う元気のあるまち～	現行の地方版総合戦略における基本目標

地域未来投資促進法に基づく取組との連携の有無	無
地域未来投資促進法による同意を受けた基本計画の名称	

基本計画に適合するとして承認された地域経済牽引事業計画の有無	無					
経済波及効果 (設備投資等の支援を行う場合には記載すること)						
地方拠点強化税制に基づく取組との連携の有無	無					
認定を受けた地方活力向上地域等特定業務施設整備計画の名称						
地方活力向上地域等特定業務施設整備計画認定要件に加えて、要件を満たす理由						
"地域再生法第5条第4項第6号に規定する事業(地域再生エリアマネジメント負担金制度)を促進する事業"の該当の有無	無					
"地域再生法第5条第4項第7号に規定する事業(商店街活性化促進事業)を促進する事業"の該当の有無	無					
企業版ふるさと納税との併用の有無	無	インセンティブ延長の有無 (横展開タイプの4、5年目の延長申請をする場合は「有」を選択) 注:延長申請時には「インセンティブシート」も提出すること				無
寄附を行う法人の具体的な見込みの程度 (インセンティブ延長申請をする場合のみ記載)						
企業版ふるさと納税の地域再生計画の名称						
企業版ふるさと納税と併用する場合の寄附見込額	2022年度 (1年目)	2023年度 (2年目)	2024年度 (3年目)	2025年度 (4年目)	2026年度 (5年目)	合計
						0千円
文化財保護法に基づく取組との連携の有無	無					
文化財保護法第183条の3第5項の認定を受けた文化財保存活用地域計画の名称						

経費内訳:2022年度(1年目)

全事業期間における本年の位置づけ	日本遺産やそれを活用した「やばけい博覧会」などのPRや情報発信を行い、事業の普及と拡大に努める。日本遺産に認定された地域の魅力の掘り起こしや、「やばけい博覧会」を実施する事業者が増えるような機運醸成を行う。		
事業開始時期	事業終了時期	KPI①	事業終了時点のKPI増加分【①】
2022 年 4 月	2023 年 3 月	中津市と玖珠町の観光客数(中津市の観光入込客数+玖珠町の観光施設の利用者数)	694.66
交付対象事業経費【②】	3,791千円		
交付対象事業におけるソフト事業経費	3,791千円	交付対象事業におけるハード事業経費	0千円
交付対象事業におけるソフト事業経費内訳		交付対象事業におけるハード事業経費内訳	
<p>令和4年度からの「やばけい博覧会」の本格的実施のため、中津玖珠日本遺産推進協議会補助金 3,791千円(中津市3,222千円、玖珠町569千円)</p> <p>○報償費 167千円(日本遺産プロデューサー報償費 等) 日本遺産を活用した観光資源の掘り起こしや、観光商品をブラッシュアップするために招聘する日本遺産プロデューサーの報償費(64千円)、地域プレーヤーミーティングの報償費(63千円)、日本遺産等の子どもガイド育成講座講師謝礼(40千円)</p> <p>○費用弁償 96千円(日本遺産プロデューサー旅費 等) 日本遺産プロデューサー(70千円)、地域プレーヤーミーティング参加の地域プレーヤー(20千円)、子どもガイド育成講座講師(6千円)への旅費等の費用弁償費</p> <p>○消耗品費 200千円 (事業のPRやミーティング、中津玖珠日本遺産推進協議会の運営、事務局に係る消耗品費)</p> <p>○広告費 550千円 (新聞などの各種メディアを活用した「やばけい博覧会」等、日本遺産事業のPRを実施)</p> <p>○印刷製本費 864千円 (日本遺産や「やばけい博覧会」をPRするためのパンフレットやポスター、チラシの印刷費) ポスター、チラシ印刷費(594千円)、パンフレット印刷費(270千円)</p> <p>○燃料費 12千円 (九州国立博物館での日本遺産PRのため、ブース出展に伴う燃料費)</p> <p>○通信運搬費、手数料、保険料等 82千円 日本遺産PRのため、日本遺産サミットでのブース出展において、パンフレットや資材等の運搬費(40千円)、手数料(26千円)、子どもガイド育成講座におけるスポーツ安全保険料(16千円)</p> <p>○委託料 1,648千円 (説明版製作、やばけい博覧会企画運営委託料 等) 日本遺産構成文化財の説明板作成費用(152千円)、日本遺産や「やばけい博覧会」をPRするためのチラシやポスター、WEBページの作成委託料(996千円)、九州内での日本遺産を所有する自治体で連携する九州連携会議企画委託料(500千円)</p> <p>○使用料・負担金 172千円 日本遺産サミット備品レンタル料、九州国立博物館ブース出展高速道路・駐車場使用料等(152千円)、日本遺産連盟負担金(20千円)</p>		<p>ハード事業経費の必要性(ソフト事業との関係性、KPI向上に資する理由等を具体的に記載)</p>	
交付対象事業における単 位当たりコスト【②/①】			5.46千円

経費内訳:2023年度(2年目) ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置づけ	日本遺産プロデューサーの招へいなどを中心に「やばけい博覧会」実施者のノウハウ向上、人材育成などを行うとともに、観光商品のブラッシュアップを行う。また、引き続きPRを行い、「やばけい博覧会」に参加する観光客の増加を図る。		
事業開始時期	事業終了時期	KPI①	事業終了時点のKPI増加分【①】
2023 年 4 月	2024 年 3 月	中津市と玖珠町の観光客数(中津市の観光入込客数+玖珠町の観光施設の利用者数)	387.00
交付対象事業経費【②】	3,791千円		
交付対象事業におけるソフト事業経費	3,791千円	交付対象事業におけるハード事業経費	0千円
交付対象事業におけるソフト事業経費内訳		交付対象事業におけるハード事業経費内訳	
<p>3年計画の2年目「やばけい博覧会」の実施のため、中津玖珠日本遺産推進協議会補助金 3,791千円(中津市3,222千円、玖珠町569千円)</p> <p>○報償費 167千円(日本遺産プロデューサー報償費 等) 日本遺産を活用した観光資源の掘り起こしや、観光商品をブラッシュアップするために招聘する日本遺産プロデューサーの報償費(64千円)、地域プレーヤーミーティングの報償費(63千円)、日本遺産等の子どもガイド育成講座講師謝礼(40千円)</p> <p>○費用弁償 96千円(日本遺産プロデューサー旅費 等) 日本遺産プロデューサー(70千円)、地域プレーヤーミーティング参加の地域プレーヤー(20千円)、子どもガイド育成講座講師(6千円)への旅費等の費用弁償費</p> <p>○消耗品費 200千円 (事業のPRやミーティング、中津玖珠日本遺産推進協議会の運営、事務局に係る消耗品費)</p> <p>○広告費 550千円 (新聞などの各種メディアを活用した「やばけい博覧会」等、日本遺産事業のPRを実施)</p> <p>○印刷製本費 864千円 (日本遺産や「やばけい博覧会」をPRするためのパンフレットやポスター、チラシの印刷費)ポスター、チラシ印刷費(594千円)、パンフレット印刷費(270千円)</p> <p>○燃料費 12千円 (九州国立博物館での日本遺産PRのため、ブース出展に伴う燃料費)</p> <p>○通信運搬費、手数料、保険料等 82千円 日本遺産PRのため、日本遺産サミットでのブース出展において、パンフレットや資料等の運搬費(40千円)、手数料(26千円)、子どもガイド育成講座におけるスポーツ安全保険料(16千円)</p> <p>○委託料 1,648千円 (説明版製作、やばけい博覧会企画運営委託料 等) 日本遺産構成文化財の説明板作成費用(152千円)、日本遺産や「やばけい博覧会」をPRするためのチラシやポスター、WEBページの作成委託料(996千円)、九州内での日本遺産を所有する自治体で連携する九州連携会議企画委託料(500千円)</p> <p>○使用料・負担金 172千円 日本遺産サミット備品レンタル料、九州国立博物館ブース出展高速道路・駐車場使用料等(152千円)、日本遺産連盟負担金(20千円)</p>		<p>ハード事業経費の必要性(ソフト事業との関係性、KPI向上に資する理由等を具体的に記載)</p>	
交付対象事業における単当たりコスト【②/①】	9.80千円		

経費内訳:2024年度(3年目) ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置づけ	PRによる観光客の増加や、「やばけい博覧会」実施者の資質向上により、事業が自走できるような体制を構築する。		
事業開始時期	事業終了時期	KPI①	事業終了時点のKPI増加分【①】
2024 年 4 月	2025 年 3 月	中津市と玖珠町の観光客数(中津市の観光入込客数+玖珠町の観光施設の利用者数)	386.00
交付対象事業経費【②】	3,791千円		
交付対象事業におけるソフト事業経費	3,791千円	交付対象事業におけるハード事業経費	0千円
交付対象事業におけるソフト事業経費内訳		交付対象事業におけるハード事業経費内訳	
<p>3年計画の最終年「やばけい博覧会」の実施のため、中津玖珠日本遺産推進協議会補助金 3,791千円(中津市3,222千円、玖珠町569千円)</p> <p>○報償費 167千円(日本遺産プロデューサー報償費 等) 日本遺産を活用した観光資源の掘り起こしや、観光商品をブラッシュアップするために招聘する日本遺産プロデューサーの報償費(64千円)、地域プレーヤーミーティングの報償費(63千円)、日本遺産等の子どもガイド育成講座講師謝礼(40千円)</p> <p>○費用弁償 96千円(日本遺産プロデューサー旅費 等) 日本遺産プロデューサー(70千円)、地域プレーヤーミーティング参加の地域プレーヤー(20千円)、子どもガイド育成講座講師(6千円)への旅費等の費用弁償費</p> <p>○消耗品費 200千円 (事業のPRやミーティング、中津玖珠日本遺産推進協議会の運営、事務局に係る消耗品費)</p> <p>○広告費 550千円 (新聞などの各種メディアを活用した「やばけい博覧会」等、日本遺産事業のPRを実施)</p> <p>○印刷製本費 864千円 (日本遺産や「やばけい博覧会」をPRするためのパンフレットやポスター、チラシの印刷費) ポスター、チラシ印刷費(594千円)、パンフレット印刷費(270千円)</p> <p>○燃料費 12千円 (九州国立博物館での日本遺産PRのため、ブース出展に伴う燃料費)</p> <p>○通信運搬費、手数料、保険料等 82千円 日本遺産PRのため、日本遺産サミットでのブース出展において、パンフレットや資材等の運搬費(40千円)、手数料(26千円)、子どもガイド育成講座におけるスポーツ安全保険料(16千円)</p> <p>○委託料 1,648千円 (説明版製作、やばけい博覧会企画運営委託料 等) 日本遺産構成文化財の説明板作成費用(152千円)、日本遺産や「やばけい博覧会」をPRするためのチラシやポスター、WEBページの作成委託料(996千円)、九州内での日本遺産を所有する自治体で連携する九州連携会議企画委託料(500千円)</p> <p>○使用料・負担金 172千円 日本遺産サミット備品レンタル料、九州国立博物館ブース出展高速道路・駐車場使用料等(152千円)、日本遺産連盟負担金(20千円)</p>		<p>ハード事業経費の必要性(ソフト事業との関係性、KPI向上に資する理由等を具体的に記載)</p>	
交付対象事業における単位当たりコスト【②/①】			9.82千円

経費内訳:2025年度(4年目) ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置づけ			
事業開始時期	事業終了時期	KPI①	事業終了時点のKPI増加分【①】
年 月	年 月	中津市と玖珠町の観光客数(中津市の観光入込客数+玖珠町の観光施設の利用者数)	
交付対象事業経費【②】			0千円
交付対象事業におけるソフト事業経費			交付対象事業におけるハード事業経費
交付対象事業におけるソフト事業経費内訳		交付対象事業におけるハード事業経費内訳	
		ハード事業経費の必要性(ソフト事業との関係性)	
交付対象事業における単当たりコスト【②/①】			0.00千円

経費内訳:2026年度(5年目) ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

全事業期間における本年の位置づけ			
事業開始時期	事業終了時期	KPI①	事業終了時点のKPI増加分【①】
年 月	年 月	中津市と玖珠町の観光客数(中津市の観光入込客数+玖珠町の観光施設の利用者数)	
交付対象事業経費【②】			0千円
交付対象事業におけるソフト事業経費			交付対象事業におけるハード事業経費
交付対象事業におけるソフト事業経費内訳		交付対象事業におけるハード事業経費内訳	
		ハード事業経費の必要性(ソフト事業との関係性)	
交付対象事業における単当たりコスト【②/①】			0.00千円

⑤ 交付対象事業の予算計上時期

予算計上時期①	2022 年 3 月	予算種別	当初	予算計上時期②	2021 年 月	予算種別		
---------	------------	------	----	---------	----------	------	--	--

⑥ 交付対象事業の効果検証及び事業見直しの方法、時期及び体制

項目	1 大分県中津市	2 大分県玖珠町	3	4	5
事業における役割	中津玖珠日本遺産推進協議会の事務局として、主として中津市内の事業者へのサポートや日本遺産プロデューサーの招へい、PR、受入態勢の整備を行う。	主として玖珠町内の事業者へのサポートや日本遺産プロデューサーの招へい、PR、受入態勢の整備を行う。			

交付対象事業の効果検証及び事業見直しの方法、時期及び体制

外部組織による検証					
検証時期	2023 年 9 月	2023 年 9 月	年 月	年 月	年 月
検証方法	事業の実績及びKPIを基に、外部有識者等が参画する総合計画の検証会議の中で、地方版総合戦略および交付対象事業の検証作業も合わせて実施する。また、検証結果を踏まえ、必要に応じて地方版総合戦略や本事業の見直しを行う。	玖珠町の附属機関を統合した玖珠町総合行政審議会にて検証する			
外部組織の参画者	産業界(商工会議所)、学界(大学教授など)、各種団体(教育委員会、農業委員会)、市民代表など	学識経験のあるもの 関係団体の役職員 公募に応じたもの その他町長が認めたもの			
検証結果の公表の方法	上記委員会での審議及びHPでの公表	上記委員会での審議及びHPでの公表			
議会による検証					
検証時期	2023 年 9 月	2023 年 9 月	年 月	年 月	年 月
検証方法	決算特別委員会での審査	決算特別委員会での審査			

⑦ 交付対象事業の仕組み

	説明
地域経済分析システム(RESAS)の活用などによる客観的なデータやこれまでの類似事業の実績評価に基づき交付対象事業の設計がなされていること。	2020年国勢調査によると中津市、玖珠町ともに人口の減少傾向が続いているが、特に中山間地域での人口の減少幅が大きくなっており、地域の元気が失われつつあると分析される。また、中津市の観光の現状については、宿泊業者への照会や観光客やのアンケート結果によると、観光入込客数に対して宿泊客数が少ない状態が続いており、観光客の滞在時間の短さが課題となっている。これらを踏まえて、「やばけい博覧会」による体験型観光の実施で、観光客の滞在時間を延ばし、観光消費額を増加させつつ、地域の元気づくりへとつながるように事業設計している。

⑧先導性に係る取組

(先駆タイプは(1)～(5)の全て(生涯活躍のまち、コンパクトシティ等においては、必ずしも(3)の要素を要件とするものではない。)、Society5.0タイプは(1)～(4)の全て、横展開タイプは(1)に加え、(2)～(5)のうち2つの要素を充たすこと。)

		取組内容					
(1) 自立性 [先導性のポイント] 交付対象事業を進めていく中で、「稼ぐ力」が発揮され、事業推進主体が自立していくことにより、将来的に本交付金に頼らずに、事業として自走していくことが可能となるもの。 具体的には、事業収入や会員からの収入、また、地方公共団体独自の財源確保等に取り組むもの。	自立性のポイント	「やばけい博覧会」による日本遺産を活用した事業のブランディングや、PR等を支援することで事業実施者(地域住民や事業者)の人材育成を図りつつ、集客力の向上を図る。これにより、それぞれの事業実施者が多くの顧客を獲得し、将来的にはそれぞれの事業の収入のみでの事業を継続していけるようになることを目指す。					
	国・専門家等から事業運営等に対する助言・サポートを受け、それを反映させる体制(国・地方及び専門家等が協働したPDCAサイクル)の概要	※Society5.0タイプのみ記載					
	3～5年以内の自立化の見込み	① あり(自主財源による自立)					
	自主財源の種類	自主財源の内容と実現方法					
	[A] 一般財源	行政努力による一般財源(3年計画でのPRや事業者支援のための事業費)					
	[B] 「やばけい博覧会」による事業者収入	「やばけい博覧会」実施による事業実施者の収入					
	[C]						
	[D]						
	各年度における自主財源見込額	2022年度(1年目)	2023年度(2年目)	2024年度(3年目)	2025年度(4年目)	2026年度(5年目)	2027年度(6年目)
	[A]	3,791千円	3,791千円	3,791千円			
	[B]	1,600千円	1,800千円	2,000千円			
	[C]						
	[D]						
合計	5,391千円	5,591千円	5,791千円	0千円	0千円	0千円	
交付対象事業経費	3,791千円	3,791千円	3,791千円	0千円	0千円		
うちソフト事業費	3,791千円	3,791千円	3,791千円	0千円	0千円		
うちハード事業費	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		

<p>(2) 官民協働(それぞれの役割を記載)</p> <p>〔先導性のポイント〕 地方公共団体のみでの取組ではなく、民間と協働して行う事業であること。また、単に協働するにとどまらず、民間からの資金(融資や出資など)を得て行うことがあれば、より望ましい。</p>	<p>官民協働のポイント</p>	<p>地域住民や事業者が日本遺産を活用した「やばけい博覧会」の実施を行い、観光客から収益を得る。創意工夫をしながら事業を継続し、地域の産業として確立を目指す。 中津市、玖珠町は共同で、事務局としてのサポートや、PR、観光客の受入態勢の整備を行うなど、事業実施者との適切な役割分担のもと、事業を実施する。</p>
	<p>行政の役割</p>	<p>中津玖珠日本遺産推進協議会の事務局として、日本遺産プロデューサー招へい等による「やばけい博覧会」実施者への支援や、日本遺産事業のPR、観光客の受入態勢の整備を行う。</p>
	<p>民間事業者の役割</p>	<p>地域住民や事業者が主体となり、行政の支援のもと日本遺産を活用した事業の掘り起こしやブランディングを行う。また、それによりブラッシュアップされた観光商品を用いて「やばけい博覧会」の実施を行い、観光客から収益を得て、産業としての確立を目指す。</p>
	<p>金融機関・その他連携者の役割</p>	
<p>(3) 地域間連携(各地方公共団体の役割を記載)</p> <p>〔先導性のポイント〕 単独の地方公共団体のみでの取組ではなく、関係する地方公共団体と連携し、広域的なメリットを発揮する事業であること。</p>	<p>地域間連携のポイント</p>	<p>日本遺産に認定されたストーリーは、中津市と玖珠町にまたがるものであり、協同での資金拠出や、それぞれの地域が連動した一貫性のある事業者支援、PR、受入態勢整備を行う。</p>
	<p>地方公共団体名①及び役割</p>	<p>大分県中津市 中津玖珠日本遺産推進協議会の事務局として、主として中津市内の事業者へのサポートや日本遺産プロデューサーの招へい、PR、受入態勢の整備を行う。また、これらの事業を協議会等を通じて玖珠町と連動させ、PRや観光案内の一貫性を図り、1つのストーリーとして観光地や事業の魅力向上施策を実施することで事業効果の増大を図る。</p>
	<p>地方公共団体名②及び役割</p>	<p>大分県玖珠町 中津玖珠日本遺産推進協議会の事務局として、主として玖珠町内の事業者へのサポートや日本遺産プロデューサーの招へい、PR、受入態勢の整備を行う。また、これらの事業を協議会等を通じて中津市と連動させ、PRや観光案内の一貫性を図り、1つのストーリーとして観光地や事業の魅力向上施策を実施することで事業効果の増大を図る。</p>
	<p>地方公共団体名③及び役割</p>	
	<p>地方公共団体名④及び役割</p>	
<p>(4) 政策間連携(連携政策の効果とワンストップ化の内容を記載)</p> <p>〔先導性のポイント〕 単一の政策目的を持つ単純な事業ではなく、複数の政策を相互に関連づけて、全体として、地方創生に対して効果を発揮する事業であること。また、利用者から見て意味あるワンストップ型の窓口等を整備して行う事業であること。</p>	<p>政策間連携のポイント</p>	<p>日本遺産を中心とした観光振興とともに、地域の住民や事業者の人材育成を図り、かつ、地域住民の参加や収益増により、総合的な地域の元気づくりを目指す。</p>
	<p>連携政策①</p>	<p>【観光振興】 中津市から玖珠町にまたがる日本遺産に認定されたストーリーについて、日本遺産プロデューサー招へい等による、更なる観光資源の掘り起こしやブラッシュアップを行う。また、広域連携による受入態勢整備により観光資源としての価値を高めるとともに、日本遺産サミットやSNSなども活用した対外的なPRを行い普及啓発に努める。</p>
	<p>連携政策②</p>	<p>【人材育成・地域活性化・文化財保護】 地域の観光資源の掘り起こしや、専門家を招へいしての事業のブラッシュアップ、事業の実施における過程で、地域住民の事業力・企画力の向上を図り、地域の人材育成を推進する。また、その人材が地域で活躍し、日本遺産の史跡・名所や伝統文化を活用・継承することによって地域の活性化に資する。</p>
	<p>連携政策③</p>	<p>【地方創生・雇用創出・交流人口拡大】 地域住民・事業者が主体となった事業の実施、産業の確立により、地域の収益や雇用の創出につながり、交流人口の拡大を伴う地域活性化に寄与する。</p>
	<p>ワンストップ化の内容</p>	<p>中津市や玖珠町、民間事業者で運営する中津玖珠日本遺産推進協議会を中心に事業を実施することで、官民が適切な役割分担のもと連携して、ワンストップ化して事業を推進する。</p>
	<p>明確な役割分担の下、連携する他省庁の補助金等の名称</p>	<p>省庁名</p>
<p>予算額</p>	<p>事業実施年度</p>	
<p>連携のポイント</p>		

<p>(5) デジタル社会の形成への寄与</p> <p>〔先導性のポイント〕 デジタル技術の活用やその普及等(デジタル技術の活用を進めるための普及啓発及び活用の前提となるデジタル人材の育成をいう。)を推進するための取組を行う事業であること。</p>	デジタル社会の形成に寄与することが期待される取組の具体的内容			
	国内外誘客促進のため、SNSやWEBでのプロモーション等を活用したPR事業を実施。また、WEB上で「やばけい博覧会」の事業者や参加者の受付フォームの作成を検討。			
	デジタル社会の形成に寄与することが期待される理由(以下①～④より選択の上、その理由(上記取組との関係性等)を具体的に記載) 〔 ① 地方の課題を解決するためのデジタル実装、② デジタル人材の育成・確保、 ③ 地方を支えるデジタル基盤の整備、④ 誰一人取り残さない社会の実現 〕			
	選択	理由(上記取組との関係性等)を具体的に記載		
	①	国内外からの観光客呼び込みを中心とした地域再活性化という目標を達成するために、SNSやWEBなどあらゆるインターネットツールを利用した広報活動を行うことで、広報のみならず将来的に事業者のデジタル技術活用スキルの向上が見込め、デジタル技術を活用した地方創生に繋がる事業となる。		
上記取組における目標				
事業者が日本遺産等を活用した事業を実施する際、デジタル技術を駆使してPR等の誘客促進事業を行う。				
<p>(6) 事業推進主体の形成</p> <p>〔先導性のポイント〕 事業を実効的・継続的に推進する主体が形成されること。特に、様々な利害関係者が含まれつつ、リーダーシップを発揮できる強力な人材を確保するとともに、必要な能力、知識を有した人材を適切な手段で確保することが望ましい。</p>	事業推進主体の名称	中津玖珠日本遺産推進協議会	設立時期	2017年10月
	構成メンバー	中津市、玖珠町、中津商工会議所、中津市しもげ商工会、玖珠町商工会、中津市教育委員会、玖珠町教育委員会		
	事業推進主体の事業遂行能力	中津玖珠日本遺産推進協議会事務局を中心として事業全般の企画・実施・報告・公表を行う。		
	経営責任の明確化	事務局を中心として事業全般の企画・実施・報告・公表を行い、中津玖珠日本遺産推進協議会が承認を行う。		
<p>(7) 地方創生人材の確保・育成</p> <p>〔先導性のポイント〕 事業を推進していく過程において、地方創生に役立つ人材の確保や育成に資するものであること。</p>	地域独自の人材ニーズ	地域の魅力や観光資源を発見し、磨き上げながら観光商品として活用し、事業の実施ができる人材。		
	人材の確保・育成方法	中津玖珠日本遺産推進協議会を中心とした行政の適切なサポートや、日本遺産プロデューサーからのアドバイスにより、地域住民や事業者の資質向上を図る。		
<p>(8) 国の総合戦略における政策5原則等</p> <p>〔先導性のポイント〕 国の総合戦略における政策5原則(将来性、地域性又は直接性)の観点や新規性など、他の地方公共団体において参考となる先駆的事业であること。</p>	狙う市場や実現したい将来像(将来性)	「やばけい博覧会」を中心とした日本遺産の魅力を高め、観光客の呼び込みを図る。事業は地域の住民や事業者が主体となって行い、それぞれの事業が自走していくとともに、その過程で地域の人材育成や収益向上にも寄与し、総じて地域が活性化していくことを目指す。		
	地域の強み/地域特性(地域性)	日本遺産に認定されたストーリーとなっている地域では、文化財的な価値のある史跡・名所が数多く存在し、豊かで美しい自然環境、景観と合わせて県内有数の観光地となっている。また、このような地域で大切に引き継がれてきた伝統・文化も日本遺産の構成要素となっており、これらが一体的なストーリーとして存在することが、観光客を呼び込む上での強みとなっている。		
	直接性	「やばけい博覧会」により、日本遺産の魅力が向上し観光客が増えることは、直接的に「やばけい博覧会」実施主体である地域住民や事業者の収益に繋がる。また、事業者の能力が向上し、観光資源が増え、磨きもかかり、さらに観光客が増え、収益も増えるという好循環を生み出す。		
	新規性	行政の支援のもと、観光資源の掘り起こしや、ブランディング、事業の実施を住民が主体となって行うことである。その過程で、住民のノウハウの向上等による人材育成、また、地域住民参画や、地域の収益向上による地域の元気づくりに繋がる。また、日本遺産の魅力向上や活用も同時になされる。		

⑨ 地方公共団体別交付対象事業経費内訳 2022年度(1年目)

地方公共団体名	1	2	3	4	5
項目	大分県中津市	大分県玖珠町			
交付対象事業経費(千円)	3,222千円	569千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業におけるソフト事業経費内訳	中津玖珠日本遺産推進協議会に対する補助金(人口割により按分:85%)	中津玖珠日本遺産推進協議会に対する補助金(人口割により按分:15%)			
交付対象事業におけるソフト事業経費(千円)	3,222千円	569千円			
うち交付対象事業におけるハード事業経費					
交付対象事業におけるハード事業経費内訳					
交付対象事業におけるハード事業経費(千円)					

⑨ 地方公共団体別交付対象事業経費内訳 2023年度(2年目) ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

地方公共団体名	1	2	3	4	5
項目	大分県中津市	大分県玖珠町			
交付対象事業経費(千円)	3,222千円	569千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業におけるソフト事業経費内訳	中津玖珠日本遺産推進協議会に対する補助金(人口割により按分:85%)	中津玖珠日本遺産推進協議会に対する補助金(人口割により按分:15%)			
交付対象事業におけるソフト事業経費(千円)	3,222千円	569千円			
うち交付対象事業におけるハード事業経費					
交付対象事業におけるハード事業経費内訳					
交付対象事業におけるハード事業経費(千円)					

⑨ 地方公共団体別交付対象事業経費内訳 2024年度(3年目) ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

地方公共団体名	1	2	3	4	5
項目	大分県中津市	大分県玖珠町			
交付対象事業経費(千円)	3,222千円	569千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業におけるソフト事業経費内訳	中津玖珠日本遺産推進協議会に対する補助金(人口割により按分:85%)	中津玖珠日本遺産推進協議会に対する補助金(人口割により按分:15%)			
交付対象事業におけるソフト事業経費(千円)	3,222千円	569千円			
うち交付対象事業におけるハード事業経費					
交付対象事業におけるハード事業経費内訳					
交付対象事業におけるハード事業経費(千円)					

⑨ 地方公共団体別交付対象事業経費内訳 2025年度(4年目) ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

地方公共団体名	1	2	3	4	5
項目	大分県中津市	大分県玖珠町			
交付対象事業経費(千円)	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業におけるソフト事業経費内訳					
交付対象事業におけるソフト事業経費(千円)					
うち交付対象事業におけるハード事業経費					
交付対象事業におけるハード事業経費内訳					
交付対象事業におけるハード事業経費(千円)					

⑨ 地方公共団体別交付対象事業経費内訳 2026年度(5年目) ※2年目以降の交付額が担保されるわけではありません。

地方公共団体名	1	2	3	4	5
項目	大分県中津市	大分県玖珠町			
交付対象事業経費(千円)	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
交付対象事業におけるソフト事業経費内訳					
交付対象事業におけるソフト事業経費(千円)					
うち交付対象事業におけるハード事業経費					
交付対象事業におけるハード事業経費内訳					
交付対象事業におけるハード事業経費(千円)					

⑩ 計画期間に対するハード事業経費の割合

地方公共団体名	1	2	3	4	5
項目	大分県中津市	大分県玖珠町			
計画期間における交付対象事業総額	9,666千円	1,707千円	0千円	0千円	0千円
計画期間におけるハード事業総額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円